**やってみっぺ みんなで手話！**

手話を知ってもらうため、あいさつの表現方法などを紹介します。手話は手指や体の動き、顔の表情を使って視覚的に表現する言語です。手話を使って、コミュニケーションの輪を広げてみませんか。

6　「分かる・分からない」をやってみよう！

【分かる】

右手を開いて胸に手を当て、そのまま下におろす。

【分からない】

右手の指先で右肩辺りを2回上に払う。

問い合わせ　高齢障がい福祉課障がい福祉担当　電話23-2167

**オオサキワンダーミュージアム　人と大自然の青空博物館**

Vol.53　第3回おおさきネイチャーポジティブシンポジウムを開催します！

問い合わせ　農政企画課世界農業遺産未来戦略室　電話23-2281

「ネイチャーポジティブ」とは、自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることをいいます。

ここ50年で野生生物の個体数は、平均して70パーセント減少していると言われ、生物多様性が失われています。その回復を目指す「ネイチャーポジティブ」について、生物多様性と「企業や市民」の関わりを学ぶため、シンポジウムを開催します。

世界農業遺産「大崎耕土」の生物多様性や自然環境について一緒に考えてみませんか。

日時　3月18日（火曜日）　13時30分～

場所　市役所本庁舎3階301会議室

定員　100人

内容　基調講演、生態系調査の結果の紹介など

申込　3月7日（金曜日）まで氏名・電話番号・所属を明記して、Eメール（osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp）、または申込フォームで申し込み

**市長コラム　天地人**

**う**

穏やかに新年を迎え、希望を持って新しい年を歩み始めておられる事とご同慶に存じます。

今年の正月は、昨年の暮れに日本の「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを寿ことほぎ、おいしい地酒をたくさんいただきました。

今年の書き初めは「希」をしました。

今年の干支は「」。巳（み・へび）は不老不死のシンボルとされており、再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年と期待されております。

今年は、阪神・淡路大震災から30年。東日本大震災から14年。平成27年9月関東・東北豪雨から10年目の年でもあります。

一層の安全・安心なまちづくりの推進と、市民の安寧を希いました。

また、ラムサール条約湿地に「伊豆沼・内沼」が登録されて40周年、「蕪栗沼・周辺水田」が登録されて20周年を迎えます。

「環境創造都市おおさき」の発展を希いました。

さらに今年は、「2025年問題」の大きな節目を迎えます。「団塊の世代」が後期高齢者となり、国民の約5人に1人が後期高齢者、約3人に1人が高齢者という超高齢化社会となり、社会保障制度や医療・介護サービス、労働力不足などの深刻な影響が懸念されます。地方存続の危機でもあります。

大崎市では、課題解決の一策として、本州初の公立日本語学校を4月に開校し、多文化共生社会づくりがスタートいたします。

未来に向かって継続、成長、発展を続けられることを希いました。

市民の皆さまの、今年1年のご健勝とご多幸を希います。